

▶(左から) 布瀬勝明さん、松田真理さん



新たなまちの相談パートナーに 人権擁護委員委嘱状伝達式

1月12日、新たに人権擁護委員に委嘱された松田真理さん(豊永)に対する委嘱状伝達式が執り行われました。また、同日に平成25年から令和4年まで務められた前任の布瀬勝明さん(共和)へ感謝状と記念品が手渡されました。



まる太くんが津別町を守る

一日警察署長委嘱状交付式

1月10日、110番の日に伴いまる太くんが一日警察署長として美幌警察署で委嘱状を受けました。その後、セイコーマート津別店の前で啓発活動を行い、お店を訪れた方に啓発グッズの配付や記念撮影など署長として町民の安全安心を願いました。



防災・防火への使命感を胸に 令和5年消防出初式

1月5日、津別消防署と津別消防団による令和5年消防出初式が挙行されました。式では、消防団員が消防庁舎前を分列行進し、火事や災害から地域を守る決意を新たにしました。その後、功労者や永年勤続者に対する表彰状の伝達式が執り行われました。



二十歳の新たな門出

津別町二十歳の成人式

1月8日、津別町二十歳の成人式が開催され、28人が参加しました。式では、二十歳の成人を代表して高塚優也さん、松平玲奈さんが町民憲章を朗唱したあと、小泉仁美さんが二十歳の誓いの言葉を述べました。また、嶋田光祥さんが町長から記念品を受け取りました。

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

**遥か桜を
想い生きる**

吉井晴紀
協力隊3年目。自然ガイドとして働く。妻と3歳になる娘と暮らす。

元号が令和になり5年目を迎える今年、私にとって30歳の節目を迎える年。さまざまなことに挑戦すると決めた。そう考えたきっかけは家族との日常の中にあった。

3歳になる娘は多くのことが出来るようになり、より活発に生活を送っている。走る、跳ぶ、遊ぶ、食べる、泣く、寝るなど何をするにも全力投球だ。毎日全力で生きている。

娘の成長に喜ぶのはもちろんだが、それ以上に「全力で生きている姿」に感銘を受けたのだ。小さな体の子どもがこんなにも全力で生きている。それなのに私はどうか? この姿は本来私たち大人が子どもに見せてあげる姿はず。今の自分には全力で生きていけない。

令和5年、新たな一歩の第一弾は摩周岳登山から始まった。故郷にある摩周湖の外輪山の最高峰。山頂まで0.4キロの看板から険しい道になる。一歩間違えば爆裂火口に滑落という細い道と両手を使わないと登れない急勾配。死の恐怖との戦いの末たどり着いた頂。そこには神の山に相応しい世界が広がる。自分が全力で生きていることを実感できた瞬間だ。

こうやって生きていけるのも家族のおかげ。本当に感謝している。ありがとう。

冬のアクティビティ 2023

現在インターネットで公開中! 町のHPをご覧ください



津別町の冬! 楽しんでますか?

今回のタウンニュースつべつは、津別町の冬のアクティビティをご紹介します。この時期、小学校のグラウンドはアイスリンクに様変わり。スケート靴をレンタルしてスケートに挑戦。さらに無料で使える津別ファミリースキー場では、スキーとランチを。そして、上里地区のノンノの森ネイチャーセンターでは、凄腕ネイチャーガイドの上野さんと冬ならではのアクティビティ「スノーシュー」も体験。さらにリバーウォークで冬の川を観察。疲れたら町内唯一の温泉宿、ランプの宿森つべつで温泉も。

津別町の冬を楽しみましょう!



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日 ごろ更新
《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》
問い合わせ先 住民企画課 企画係 14番窓口 ☎77-8374